

編集後記

●「ありがとう」の反対語は「当たり前」という話を聞きました。「ありがとう」の語源は、古語の「ありがたし」(有り難し、滅多に無い)だそうです。大声でおしゃべりし、声を合わせて歌い、マスクなんかせずに思いっきり校庭を走る。そんな当たり前のことが、どれほどありがたいことだったのか。コロナ禍の年度末、子どもたちと大変だった状況を共有しながら、希望を語り合いたいものです。(こ)

●以前の特集で、年度替わりにする同僚へのサポートとして「データの管理」が挙げられていたことから、特集2は生まれました。デジタルデータを使いやすいようにまとめて引き継ぐことは、ICT化が進む昨今、大切なサポートなのだと感じます。教科書は紙、板書をノートに鉛筆で書きとっていた自分の学生時代とは隔世の思い。学校への認識をアップデートしていくことが必要と、痛感する日々です。(た)

次号のお知らせ

特集1 新年度、短時間で

子どもとの信頼関係づくり

新年度はあれこれやるのが押し寄せ、非常に慌ただしい時期。そんな中、教師と子どもたちとの信頼関係づくりを急ピッチで進めていくことになります。その土台づくりの工夫を紹介します。

特集2 異動してきた先生を

孤立させないために

新年度、異動してきた先生は戸惑いや不安を抱えています。困りごとや悩みを聞く、コピー機の使い方をあらかじめ伝えるなど、職員室の新メンバーの孤立を防ぐサポートの方法について考えます。



月刊学校教育相談

2022年 令和4年 3月号

定価 820円 (本体 745円)

2022年3月1日発行

●発行所

ほんの森出版株式会社

〒145-0062

東京都大田区北千束3-16-11

電話 03-5754-3346

FAX 03-5918-8146

URL <https://www.honnomori.co.jp>

●編集企画 学校教育相談研究所


●発行人 小林敏史

●印刷所 研友社印刷(株)

ほんの森掲示板

- ・学校暦と同じく『月刊学校教育相談』も、次の4月号が年度のスタートとなります。今月号まで連載くださった先生方、毎回ハッとさせられる視点や具体的なかかわりをご紹介くださり、ありがとうございました。
- ・4月号からは、新たに7つの連載が始まります(巻頭の綴じ込みをご覧ください)。新年度も、読者のみなさんの日々のかかわりに役立つ情報や、読んだら元気が出る情報をお届けできたらと考えています。もちろん、特集にも力を入れてまいります。4月号からもご期待ください!

● 本誌の2022年4月号からの1年間の誌代は12,340円(税込 増刊号2冊を含みます)。振替口座 00140-4-768848 雑誌・書籍のご注文は、書店もしくは直接小社にどうぞ。本誌定期購読の場合は送料サービス。書籍・バックナンバーのご注文は1冊につき送料100円(3冊以上送料サービス)でお送りします。お支払いは送本時同封の郵便振替用紙で。

●  **文書ファイル配布** ページ下にこのマークが入っている ※詳しくは奥付を! 資料のファイル(一太郎・ワード・パワポなど)を希望の方はホームページからご連絡ください。

ほんの森出版

検索